

ほうふ Hofu

発行／防府市議会

編集／議会広報編集委員会

〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/sigikai/>

# 市議会だより No.27

平成24年11月15日



平成24年9月5日撮影

## 9月定例議会

議案の概要	..... P2～P3
一般質問	..... P4～P8
一般・特別会計決算特別委員会の報告	.. P10
上下水道事業決算特別委員会の報告	.. P10

議会報告会のまとめ	..... P11
議会日誌	..... P12
12月定例議会の予定	..... P12

議会中継（ライブ・録画）がホームページで見られます!!

# 平成24年 9月 定例議会

9月定例議会は、9月5日から10月3日までの会期29日間の日程で開催されました。平成24年度一般会計補正予算をはじめ、参画及び協働の推進に関する条例案、平成23年度一般・特別会計決算および上下水道事業決算の認定など、議案16件、選任2件、報告4件、認定2件、請願1件、決議2件を審議しました。

主な議案等とその審議経過の概要をお知らせします。

## 条例

■参画及び協働の推進に関する条例を制定  
総務委員会は、継続審査となっていた本条例案を一部修正したものを本会議に提案し、修正部分及び修正部分を除く原案を全会一致で可決しました。

■火災予防条例を改定  
火災の発生のおそれのある設備に、今年度設置予定の電気自動車等の急速充電設備を加える条例の改正案が提出され、全会一致で可決しました。

■防災会議条例及び災害対策本部条例を改定  
総務委員会は、本条の改正案を一部修正したものを本会議に提案し、修正部分及び修正部分を除く原案を全会一致で可決しました。本条例の改定理由は、災害対策基本法の改定に伴う所要の改定等を行うものです。修正した部分は、防災会議委員の選任について、公募の委員4人（うち男性は2人以内）を加え、市長が任命する委員を4人減としたものです。

■非常勤職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例を改定  
議員の期末手当の支給は、基準日にな籍しておれば支給するようになっていますが、これでは市民の理解は得られないとの理由から在籍期間が3カ月未満の場合には支給しないように改めたもので、全会一致で可決しました。

■教育委員会委員の選任  
新任 村田 敦さん（今市町）  
2期8年にわたり本市の教育行政にご尽力をいただきました松本 和氏は任期満了で退任されます。今日までのご労苦に対し、深く感謝の意を表します。

## 人事

■固定資産評価審査委員会委員の選任  
再任 橋本 勇さん（栄町）

## 予算

■平成24年度一般会計補正予算  
7,528万5千円を追加し、補正後の予算総額を40億5,840万8千円とする予算案が提出されました。

①不当要求等防止対策委員会委員の専門員（弁護士）の報酬  
3月議会及び6月議会で否決した予算ですが、再度提案されました。不当要求等防止対策委員会に専門員が必要であるかを審査できなかったとの理由

で、これに係る経費を全額削除する修正案を議員提案で提出しました。3月議会、6月議会においても、職員が不当要求等に関する事柄に対応するため必要な経費であると主張しており、今後も職員が専門員に安心して相談できる環境をつくっていくことは必要と考えるとの反対意見もありましたが、賛成多数で修正案を可決しました。（9ページの賛否No.1を参照）

### ②山頭火ふるさと館整備事業

土地購入に係る経費として約4千4百万円を追加する補正予算案が提案されました。全国随一の山頭火の顕彰・交流施設、自由律俳句の一大拠点にふさわしい施設とするためには、購入予定地の形状が長細く面積が小さいので、建物が土地形状、面積に制限され、十分な展示スペースを確保できない。また、駐車場も確保できないので、場所等について、再検討を要するとの理由で、これに係る経費を全額削除する修正案を議員提案で提出しました。山頭火ふるさと会の皆様から、建設が遅れば、資料収集に困難が生じかねないという切実な話を聞き、この時期を逃してはならないと判断した。宮市本陣兄部家の焼け残った蔵や庭などを含む敷地が貴重な文化財として国の史跡に指定されたとの防府市にとって大変うれしい報道が9月19日にあり、そこに隣接する候補地は適地であるとの反対意見もありましたが、賛成多数で修正案を可決しました。（賛否No.2）

なお、修正部分について納得できない市長は、再議を申し出ました。審議した結果、賛成少数（出席議員の2/3で可決）で否決しました。（賛否No.3）

再度、原案に戻って採決した結果、賛成少数で否決しました。（賛否No.4）

これを受け、市長は議案を一部修正した新たな平成24年度補正予算案を提出しました。これについても同じような修正案を提出し、賛成多数で可決しました。（賛否No.5&6）

## 決議・請願

### ■茜島シーサイドスクール事業の存続に関する決議

防府市立小・中学校教育検討委員会は、市教育長に対し、茜島シーサイドスクール事業については、「野島在住の生徒が野島中学校を卒業した時点で一旦区切りを付けることが望ましい」との提言を行っている。

現在、野島在住の児童・生徒は中学校3年に1名在籍するのみであり、平成25年度には野島在住の生徒がいなくなるため、市教育委員会は、提言に基づき本事業の成果を検証しながら事業のあり方について検討するとしている。

しかし、提言の附帯事項では、本事業は教育的に大きな意義があったとしており、教育委員会も少人数の中で豊かな体験活動を通して学ぶことのできる本事業は、教育的に大きな意義があると評価している。

防府市議会としては、教育上、大きな意義が認められ、さらに野島島民の心の拠り所でもある茜島シーサイドスクール事業を来年度以降も継続実施することを求めるものがある。



野島小・中学校

この決議については全会一致で可決しました。

### ■市民プール建設事業に関する附帯決議

教育民生委員会は所管事務調査で新プール整備に関して意見を述べてきた。この中で、屋外プールと屋内温水プールを比較すると、コスト差もそれほど大きくなく、競技力の向上のみならず、健康増進、介護予防等の観点からも年間を通じて利用可能な屋内温水プールのメリットは極めて大きい。また、近年のプール建設の動向は屋内温水プールが主流になっていることから、屋内温水プールの検討を求めた。

さらに、平成24年度予算の執行にあたって、屋内温水プールも含めて検討する等の附帯決議を行った。

以上のことを踏まえ、市民プール基本設計及び実施設計業務委託経費の執行にあたっては、将来の屋内温水プール化を念頭に、施設配置計画等を行うこと。

これに対し、行政は屋内温水プール化

が可能な施設配置を行うと言っている。この決議は、賛成多数で可決しました。意見がありましたが、賛成多数で可決しました。（賛否No.7）



閉鎖中の市民プール

### ■市主催による戦没者慰霊祭（追悼式）の実施に関する請願書

防府市自治会連合会（廣石 聖会長）から、請願が出され全会一致で採択しました。内容（要旨）は次のとおりです。

過去の悲惨な戦争の教訓を風化させないためにも、国の平和と郷土の平安、家族の幸せを願い尊い生命を捧げられた戦没者の慰霊祭は、遺族だけのものではなく、国や地方自治体の責任において実施されるべきものであり、今後、国が実施している「全国戦没者追悼式」にならう、県内7市でも実施されている市主催による慰霊祭（追悼式）を行われようというお願いいたします。

なお、市主催による慰霊祭（追悼式）については、無宗教・献花方式（特定の宗教、宗派でなく）による献花で追悼の意を表する無宗教の行事として実施されたい。

## なくそういじめ！

大津市での「いじめ」による中学生の自殺は、社会に大きな波紋を投げかけました。防府市議会では、平成7年3月に左記に示す決議をしていますので紹介いたします。家族全員で読んでいただければ幸いです。

「死にたいと思うことがあるかもしれないけれど、生きていてよかったと思うこともあるだろう。おとなだつて、おなじなんだ。悔しかったり、悲しかったり、どうしようもなくなることが、あるんだ。でも、友だちや家族に、いやなことを聞いてもらつて、オタオタしながら、ハラハラしながら、泣いたり、笑つたりしながら、生きていくんだ。

夢や希望の大きい君たちだから、心の傷も大きいかな。まっすぐ進む君たちだから、ぶつかることも多いのかな。

君たちが悩むのは、今の社会が複雑で難しくなっているからだろうか。でも、君たちが『もう一度、生きてみよう』と思えるように、君たちの悩みや叫びを受け止めていきたい。

君たちの悩み、誰でもいいから、話してみないか。寄り道してもいいじゃないか。みんな一緒に助け合い、少しずつ前へ進んでいこう。

防府市議会は、防府の子どもたちに、この言葉をおくり、学校、家庭、地域が力をあわせ、「いじめ」のない明るい社会をつくるため、積極的に行動することを決議する。

# Q&A

## 一般質問



9月定例議会では、14名の議員が市政について質問に立ちました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を12月上旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館でご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

### 防府の歴史・伝統工芸等の普及を！

山田 耕治（絆）

**問** 防府市の伝統工芸品の展示等、普及活動は？

**市長** デザインプラザ防府の常設展示ホールで、陶芸品のほか、山口・防府地域内の主たる伝統工芸品を展示するなど、普及活動に努めている。

**問** 歴史的資料を個人で保管されている方への取り組みは？

**市長** 個人で保管・管理が基本だが、相談があった時は丁寧に対応している。なお、管理・維持が困難なものは、資料館に寄託・寄贈いただくことにしている。寄託はないが、寄贈は26件、1、185点ある。

**問** 歴史・文化の興味を子ども達に抱いてもらう取り組みは？

**市長** 市内の小学校で、副読本「のびゆく防府」を使い、郷土の歴史・文化・産業などを学んでいる。また、文化財郷土資料館では、古代の遊びを

体験できるコーナーを設置している。

**問** 歴史・芸術文化を展示会等で紹介するボランティアの育成は？

**市長** 施設間の連携を図り、早急に検討したい。

**問** 防府市の歴史・芸術文化を、まとめたガイドブックを作成してみたいか？

**教育部長** 検討していきたい。

**問** 現在計画中の（仮称）山頭火ふるさと館は、防府市歴史博物館として、山頭火も含めた複合施設とすべきでは？

**市長** 現行の計画を進めたいので、ご理解いただきたい。



文化財郷土資料館

#### ◆ その他の質問項目

防府市の学校教育  
予算について

### 『いじめ』は絶対許さない!!

河杉 憲一（七日会）

**問** 現代のいじめは、陰湿化、巧妙化してきている。この実態をどのように受け止めているのか？

**教育部長** 学校において、いじめが原因による児童生徒の自殺が起きていることは、憂慮すべきであり、大変遺憾なことである。いじめは深刻な人権問題であり、人間として許されない行為である。

**問** 市内の小・中学校のいじめの認知件数は？

**教育部長** 平成19年度は小学校60件、中学校61件で合計121件である。しかし5年後の平成23年度は、小学校15件、中学校22件合計37件と減少している。

**問** 学校においての、いじめの取り組みは？

**教育部長** 日頃から仲間を大事にし、思いやりの心を育む指導やいじめを絶対許さない学級づくりを進めている。週1回のアンケート調査や行動観察

などを行い、発覚後は全教職員が組織的に対応している。

**問** ネットいじめの実態と対応については？

**教育部長** 小学校6年生の内約25%の児童、中学校3年生の内約50%が、携帯電話を所有している。ネットいじめは平成23年度は2件あった。誹謗・中傷の書き込みは、すぐに削除させ指導を行った。

**要望** いじめはこの学校にも、どのクラスにも、どの子にも起こりうることを思います。いじめを受けている児童生徒には徹底して守っていく、同時に、いじめは絶対許さないという強い姿勢を示して行くことが重要です。学校や各関係機関が連携を取りながら、組織的・総合的に取り組んで行かれることを要望します。

### 留守家庭児童学級の拡充と開設時間の延長について

山下 和明（公明党）

**問** 結婚後も引き続き仕事や子育ての両面で活躍する女性が増えており、今後もしつした傾向が続くと思われる。しかし親の不安はなんと言っても近年、児童を巻き込む事故や事件が後を絶たない。

そこで、留守家庭児童学級に在籍できるのは、1年生を優先し概ね3年生までであるが、4年生までを対象にすることはできないか。

**市長** 本市では1年生から3年生の低学年児童を対象とし、事業を実施している。しかしながら指摘のとおり、4年生にも健全育成上、見守りの必要な児童がいるものと考えられる。先に児童福祉法の改正により、平成28年4月の政令で定める日から、放課後児童健全育成事業の対象者が小学校全員に拡大されることになる。つきましては4年生以上の児童についても

受け入れを検討したい。

**問** 留守家庭児童学級は、土曜日や夏休み等の学校休業日の開設時間は午前8時30分から午後5時45分としているが、保護者から時間延長を望む意見があるが、朝8時から夕方6時に変更できないか。

**市長** 最近、保護者から時間の延長を求める声が多く聞かれるようになった。保育時間の延長を言明制度改正について前向きに検討したい。

#### その他の質問項目

◆旧カネボウ正門からイオンタウン防府に至る間の歩道整備を急いではどうか。

◆道路側溝のコンクリート蓋の「蓋上げ器」の貸出しを各公民館に常設してはどうか。



### 高齢者保健福祉について

山根 祐二（公明党）

**問** 本年4月から24時間訪問介護看護サービスが創設されたが定期巡回・随時対応型訪問介護看護の取組は。

**市長** 本市では平成24年に整備の計画であった。しかし、事業者が現時点では困難であるとして整備に至っていない。

**問** 事業者が困難であるとした理由は。

**健康福祉部長** 厚生労働省から公表された報酬等では採算面で事業展開が困難であると指摘されている。24時間体制にするには看護職員を最低5人配置の必要があり、採算性は厳しいと判断されたと思う。

**問** 本サービスについて今後の方向性は。

**健康福祉部長** 市のアンケートでは元気な高齢者の52%が要介護になっても現在の住居に住み続けたいと回答している。制度改正により発展してい

くと考える。

**問** 介護士の育成、処遇改善、退職看護人材の掘り起こしなどについては。

**健康福祉部長** 基本的に国の責務と思う。市はケアマネージャーにステツプアップを目指した研修会を重ねていきたい。

**問** 介護支援ボランティア制度を導入しては。

**市長** 高齢者・障害者の散歩、通院等の付き添いなどに高齢者が参加することは有効である。本市では有償でシルバー人材センターが実施している。しかし、介護ボランティア制度におけるポイント制は県内で導入している自治体もあるので調査研究していく。

**その他の質問項目**

◆住宅セーフティネット整備について



### いじめ自殺対策、国道2号富海拡幅工事の早期完成、プール建設

大田 雄二郎（明政会）

**問** 昨年大津市で、いじめを受け中学2年の生徒が自殺した件について。

**教育長** 大変遺憾なことで、子どもの命と人権を守るため教育関係者が連携し責務を全うしたい。

**問** 2005年下関市の中学3年生が自殺し、命日を下関市のうちの一日と定める件について。

**教育長** いじめは絶対に許さないと強い姿勢で取り組んでいく。

**問** 市内の小・中学校のいじめの実態とアンケート調査について。

**教育長** 平成21年度78件、22年度49件、23年度37件と、いじめの認知件数は減少している。アンケート調査は、2学期から週1回とした。

**問** ボクシングジムで心と体と技術を鍛えて、いじめ自殺対策に成功している市内の例について。

**教育長** 地域のスポーツの指導者によって、いじめが解決できて喜ばしい。地域の皆様の力は重要である。

**問** 国道2号、富海拡幅工事の早期完成を県知事に要望を。

**市長** 国・県に対して要望します。

**問** 国道262号、勝坂トンネルの大雨規制解除を県知事に要望を。

**市長** 国施工の剣川砂防えん堤が完成すれば、通行規制は撤廃される。国・県に要望します。

**問** プール建設について

は、早期完成と、議会の附帯決議に基づいて、屋内温水プールを。

**教育部長** 平成26年7月オープン予定で、屋外プールの予定。

**問** 平成15年に、市水泳連盟から8,800人の署名を添えて温水プールの陳情書が提出済の件。

**市長** 市水泳連盟関係者と、国体誘致の件で話したので、知っている。

### 中間的就労の支援、給食食器の一斉更新 雇用促進住宅の活用

高砂 朋子（公明党）

**問** 長期引きこもりや発達障害の若者の就労のために、一般就労でも福祉就労でもない、中間的な就労の受け皿が必要。その支援については。

**市長** 7月に、防府市若者自立支援ネットワーク会議で関係機関と協議。

この支援は必要ではあるが、現状では単独での支援は難しいとの認識。今後、どのように連携すれば解決できるかを検討、継続して協議していく。

**問** 小学校では、長年、アルマイト製食器が使われていたが、「変更して欲しい」との多くの方の要望が湧き、PENN食器への更新が進んでいる。（平成21年9月一般質問で要望）またの学校の更新を一斉にすべきでは。

**教育部長** 給食食器は、平成22年度から5カ年計画で更新の予定、現在8校が終了している。更新した学校からは、「持つ

ても熱くない。食べやすくなった。きれいでうれしい。」などの感想が届いている。出来るだけ早く全ての学校の更新をしたいが、枚数増加に伴い、保管庫の増設や施設改修が必要となる。夏休みに計画的に進めていく予定であり、ご理解賜りたい。



**問** 平成33年までに完全事業廃止の雇用促進住宅を市として取得し、活用しては。

**市長** 今後持ち主である「高齢・障害・求職者雇用支援機構」の動きを注視し、対応を検討する。

**要望** 特に世帯数の多い「大道」については、しっかり対応をしてほしい。

### 華城の通学路の危険解消へ 都市計画道路の早期完成を

木村 一彦（日本共産党）

**問** 土木系の設計・測量業務委託は極端な低価格入札が続いており、特定の業者がなれば独占している。この事態をどう考えるか。

**市長** この分野は専門知識・技術力など各社のノウハウが価格に反映されるので、価格競争の結果だと考えている。低入札価格調査制度については下関市などの成果を見守りたい。

**問** 山口ケーブルビジョンでは、地デジ化を契機に九州方面のテレビ放送が見られなくなっている。同社の株主でもある市はこれをどう考えるか。

**市長** さきに「福岡県民放4社は山口ケーブルビジョンが再送信することに同意しなければならぬ」という総務大臣裁定が下っているが、同時に「当事者間で円満な解決がおこなわれることを期待する」との談話が出て

いる。市としては、引き続き当事者間の協議を見守りたい。

**問** 桑山中と華城小の通学路となっている市道三田尻西浦線の危険性を解消するには、これに併行して建設中の都市計画道路の早期完成が不可欠だ。完成の見通しは。

**土木都市建設部長** 新しい道路が県道防府停車場向島線（中村被服の南側）につながるのが平成26年度末、市道本橋八河内線（光宗寺に通じる道）につながるのが平成28年度末。できるだけ早期完成に努めたい。

入札日	落札率	落札業者
2009.7.22	61.1	T社
2009.6.19	61.2	T社
2009.5.20	58.0	T社
2009.4.23	89.0	F社
2011.11.11	61.1	T社
2011.10.16	61.2	T社
2011.9.27	68.9	T社
2011.8.30	50.4	T社
2011.7.27	37.4	T社
2011.6.27	54.8	T社
2011.5.24	44.0	T社
2011.4.22	38.5	T社
2011.3.17	29.2	T社
2011.2.11	11.9	T社
2011.1.9	12.1	T社
2011.1.7	11.7	T社
2011.1.6	7.7	T社
2011.1.4	25.1	T社
2011.1.3	39.4	T社
2011.1.2	45.7	T社
2011.1.1	44.3	T社
2011.1.1	42.7	T社
2011.1.1	36.0	T社
2011.1.1	23.0	T社
2011.1.1	12.0	T社
2011.1.1	8.8	T社

網掛けは下社が落札

### 統計数値は都市のバロメーター。 文化は心の寄りどころ

重川 恭年（民意クラブ）

**問** 私の今の任期4年間の中で、毎議会ごとに行ってきた一般質問での「まちの活性化と未来像について」の考えをお尋ね致したい。

**市長** 人口減少社会が到来し、少子高齢化が進行していく中、都市機能が集積したコンパクトな中心域を、しっかり保つと同時に周辺域の利便性を高め、市全体を活性化させる考えを保持したい。

**問** 地価の下落率や有効求人倍率などの数値を見る限り、実態とは全然違っていると思うがどうか。

**総務部長** 地価の下落率について現時点では、諸般の情勢により、また有効求人倍率についても歯止めが掛かっておらず、憂慮しているが、改善に向け最善の努力をしたい。

**問** 文化・芸術等の振興対策として、文化芸術振興条例を制定しては如何か。

か。

**教育部長** 豊かな心の育みと、文化の薫りあふれるまちづくりを目標に、第四次市総合計画を策定し、実現に向け努力している。今現在直ちに制定することに関しては研究したい。

**問** この件に関しても努力されていることは判るが実態と掛け離れているように思うが如何か。

**教育部長** 見解の相違もあるが、施策が実現するよう市民の意見を聞きながら、努力、研究したい。



なぜか地価下落率の著しい防府市街地

### 公共施設に「磁気ループ」の整備を 小・中学校の教室に扇風機等設置を

山本 久江（日本共産党）

**問** 聴覚障害者や高齢難聴者が、雑音のない鮮明な音声を聴くことができ「磁気ループ」を公共施設に設置できないか。

**市長** まずは、市の障害福祉課や高齢福祉課等の窓口を設置し、市民サービスの向上に努めたい。「磁気ループシステム」の貸し出しも検討したい。

**問** 猛暑が続く中、小・中学校の教室に、「曇さ対策」として、扇風機（天井扇）等設置できないか。

**市長** 本年度の日中最高室内気温が33度に達している学校もあり、全ての小・中学校において児童生徒が健康的で、学習しやすい環境の中で勉学に励めるよう、教室への扇風機設置を検討したい。

**問** 留守家庭児童学級の定員を上回る申し込みがあり、入所できない児童がいる。学級の増設ができないか。

**市長** 各校区の児童数や

利用希望者数の推移などの状況把握に努め、中長期的な視点で施設整備を行いたい。

**問** 留守家庭児童学級の利用世帯で同一世帯に2人以上の入所児童がいる場合、保育料軽減ができないか。

**健康福祉部長** 市民税非課税世帯への軽減を図りたい。

**問** 通学路の安全対策が急がれるが、どうか。

**市長** 通学路の緊急合同点検を行い、141カ所の危険箇所が各学校から報告された。早急な対策が困難な箇所やすでに安全対策が実施された箇所を除き、今年度中に17カ所、来年度以降81カ所の安全対策を講じる予定である。



### 本格的なサッカー場建設・ 観光振興について

中林 堅造（平成会）

**問** サッカー施設の現状についてどう認識しているか

**市長** 地元企業の支援により、ジュニア世代の育成・競技力向上、指導者の育成が図られ、サッカーへの理解は深い。天然芝の陸上競技場1面、スポーツセンターの南北広場2面。向島運動公園多目的広場2面の計7面に様々なスポーツ団体に利用され芝生化は困難。

**問** 他のスポーツ施設は整備されてきている。今後、天然芝・人工芝の本格的なサッカー場を建設できないか。

**市長** 様々な課題はあるが関係団体をはじめ市民のご要望があることは十分認識しており、新プール施設の整備後に検討課題とさせていただきます。

**問** 「山頭火ふるさと館」建設にむけての進捗は。

**市長** 建設予定地の土地取得等ご承認後、契約締

結予定。11月末までに基本計画策定。平成25年度、基本設計、実施設計。26年度建設。27年度秋から冬に開館予定。

**問** 国指定史跡「宮市本陣兄部家」の敷地全体を萩往還関連史跡に追加指定された経緯は。

**市長** 書院建物部分のみ平成元年に、指定。追加指定の答申が平成23年5月20日。7月22日火災により書院建物、本家主焼。測量、実測、火災残史跡に追加指定予定。残存調査報告を4月文化庁に提出。9月末国指定。



### 積極的な企業誘致対策の展開を！

土井 章（明政会）

**問** 近年、企業、国・県機関の撤退が続いており有効求人倍率、地価下落率も最悪の状況である。この打破には、企業誘致しかないと考えます。

山口テクノ第2団地は土地取得費に80%補助をし、マツダ㈱と取引のある企業も進出している。当市も同様にすべき。

また、進出企業の大規模な施設設備投資に対する固定資産税相当額の補助制度も、現行3年を山口市同様5年としては。

**市長** 現行の奨励制度を維持したい。

**問** J-T防府工場閉鎖後の跡地を企業誘致用地として、市が取得しては。

**市長** 先ずは民間取引に委ねるべきで、現時点では考えていない。

**問** J-T産業廃棄物処分場跡地について利用方法等の情報を得ているか。

**市長** 売却も視野に、現在、詳細調査中。この結

果で、方針が出される。問 萩島シーサイドスクールは効果を挙げている。市教育検討委員会は、何故、意義のあるこの制度を「野島在住の生徒がいなくなったら区切りを付ける。」との結論を出したのか。

また、渡船通学を希望する児童生徒がいる限り制度は、存続すべき。

**教育長** 県内他島の統廃合の状況、財政上の問題等から判断したよつた。効果を検証しながら、平成26年度以降の在り方について検討したい。

**問** 市自治会連合会から、市主催による戦没者慰霊祭の要望があった。是非、市主催で行うべき。

**市長** 市主催で行う。その他の質問項目

◆野島漁港浚渫について ◆「つめてらす」飲食施設の夜間営業について

### 未だに豪雨災害の土のうが護岸に 被害地三谷川の防災対策を早急に！

三原 昭治（民意クラブ）

**問** 豪雨災害で上右田の三谷川は決壊し、土石流が地区内に流れ込んで多大な被害をもたらしたが、防災対策はどうなっているのか。

**土木都市建設部長** 23年度から未改修護岸約60mに着手し、23年度は15m、本年度も実施。残区間については、できるだけ早急に実施を考えている。

**問** 災害を教訓とするのなら細切れの対応ではなく、一気に改修すべきではないか。

**土木都市建設部長** 他の箇所もあり、できるだけ早期にと考えている。

**問** 市長の言う災害に強いまちづくりは発生時の対応なのか、それとも防災、減災を考えているのか。

**市長** 災害が発生しても耐えられるだけの基盤整備をしていくことが防災と思っている。

**問** 改修護岸の下には、



災害の爪痕残る3年前の土のうが護岸に

未だに土のうが積んである状況であり、被災者の不安度がうかがえるが、早急な対応を。

**土木都市建設部長** 護岸の嵩上げも考えていきたい。

**問** 市長はこの現状を見られたことがあるか。

**市長** 具体的にどここの現場から知らない。

**問** 防災を掲げて市長選に出馬した者の言葉とは思えず残念だ。川底には土砂が堆積し、よしなどの雑草も繁茂しており、豪雨が発生すれば同様の災害が起きるが、早急な対応を。

**土木都市建設部長** 再度現地を確認して対応を真摯に検討したい。

### 都市計画道路の見直しを 臨時・非常勤職員のある方

田中 健次（市民クラブ）

**問** 都市計画道路の整備状況はどうか。

**市長** 44路線125km中、全線改良済22路線、一部改良済17路線で改良済66km、整備率52%。未着手路線は5路線、約6kmは30年以上未整備です。

**問** 県は見直し基本方針を策定した。見直しを進めるべきではないか。

**市長** 県と市が連携して見直しを進めることになり、住民の理解を得ることが必要。他市の動向に注視し検討する。

**問** 県内他市の状況は？

**土木都市建設部長** 10市町が見直し作業に着手、防府市を含む4市町が検討中、2市町が方針未定。

**意見** 防府市の取組は遅れていないか。長期の建設制限は民間開発への障害であり、都市計画への信頼性の低下を引き起こす。見直しを急ぐべき。

**問** 正規職員、臨時・非常勤職員の人員はどうか。

**総務部長** 正規職員894人、臨時職員1200人、パート職員277人、嘱託職員229人で非正規職員は506人となる。

**問** 非正規職員の割合が高い。嘱託職員の内、相談員は専門性が必要、順次正規化すべきだ。

**総務部長** あくまでも正規職員の補充としている。

**問** 相談員は専門性の蓄積のため5年の雇止めをやめるべきでは？

**総務部長** 広く市民が職につくこと等のため5年の雇用期限を設けている。

**問** 先進自治体にならぬ、経験年数等を考慮し、実質的な昇給の導入は？

**総務部長** 難しいと判断している。

### 防府西高等学校 通学路の安全対策（防犯灯の設置）

斉藤 旭（前進）

**問** 山口短大付近の県道から国道2号線までの約5百メートルの間は、地域住民の生活道として、通学用、散策用、農業用等に幅広く利用されていますが、田圃の中に位置し周辺に人家がないため、日没後は真っ暗で、足元の見えにくさや、不審者の出没といった安全面や、防犯面から多くの問題を呈しています。

**市長** ご指摘の防犯灯は必要と思いますし、私も付近を通るたび、大事が起きなければと常に気にかけています。防犯灯は地域の安全を確保するために自治会が設置し管理していますが、街路灯は交通安全の観点から交差点や横断歩道等の安全を確保するため市が設置しています。現行の制度では、設置は難しいものと考えます。

**問** 10年前の質問には防犯灯の必要性は認識する

が、他地域とのバランスもあり全額市費で対応することは出来ないが、今後山口県や関係団体とも協議しながら検討するとの答弁でした。私が今般あえて同一の質問をしたのは当該通学路が、他の通学路と如何に違うのか、如何に危険であるかということを多くの人に知って貰いたかったので。また、当該道は中央の境界ブロックを境に、県管理の周防往還自動車道と、防府市道が混在していますが、県道とか市道とか、行政のややこしい垣根を越えて利用者の安全を最優先に考え、素早い行動をされ、今度こそ防犯灯が実現しますようお願いいたします。

**市長** 新たな規準、制度を摸索し、早急に対応したい。

— 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対

賛否 No.	平成24年9月定例会	党派・議員名																賛否の合計		議決結果							
		明政会				絆		公明党		平成会		前進		七日会		日本共産党		民意クラブ			一灯会	市民クラブ					
		大田	土井	弘中	松村	行重	青木	安藤	山田	高砂	山下	山根	田中敏	小林	横田	今津	齊藤	河杉	久保		木村	山本	重川	三原	藤本	田中健	賛成
1	平成24年度一般会計補正予算(第4号)(一般管理費修正案)	○	○	○	○	○	○	-	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	12	11	可決
2	(企画費修正案)	○	○	○	○	○	○	-	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○	12	11	可決
3	平成24年度一般会計補正予算(第4号)の再議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○	13	11	否決
4	(原案)	×	×	×	×	×	×	-	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	○	×	11	12	否決
5	平成24年度一般会計補正予算(第5号)(一般管理費修正案)	○	○	○	○	○	○	-	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	12	11	可決
6	(企画費修正案)	○	○	○	○	○	○	-	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○	12	11	可決
7	平成24年度一般会計補正予算(第5号)のプール建設事業に関する附帯決議	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	16	7	可決
8	平成23年度決算の認定	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	×	19	3	認定
9	平成23年度上下水道事業決算の認定	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	×	19	3	認定

※賛否の態度が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない18議案は、全会一致で可決しました。

※安藤議員は議長のため、再議の採決のみ加わります。

※今津議員は監査委員のため、賛否No.8、9の採決には加わりません。

佐鹿博敏 議員 ご逝去



防府市議会議員の佐鹿博敏様が平成24年9月23日、多臓器不全で亡くなりました。享年71歳。佐鹿議員は、昭和47年11月の市議選で初当選され、以来9期36年間の長きにわたり、市政の発展にご尽力いただき、この間、経済委員会副委員長、同委員長などを歴任され、平成11年12月に第41代市議会副議長を務められました。また、地域においても、子ども会会長として青少年の健全育成にご尽力されました。なお、永年のご功績により、平成15年に藍綬褒章を受章されました。謹んで哀悼の意を表します。

**一般・特別会計決算特別委員会の報告**  
（9月24日、25日、26日開催）

**■決算の概要**

▽平成23年度一般会計決算は、歳入歳出差引額18億3千万円で、事業の繰越に伴う繰越財源を差し引いた実質収支は、15億4千万円の大幅な黒字となりました。

特別会計全体の決算は、歳入歳出差引額11億9千万円の黒字で、事業の繰越が無い実質収支も同額の黒字となりました。

**■委員会での総括的な意見**

▽平成23年度収支が15億4千万円の黒字になり、積立金残高も82億円になる。一方、各担当課は予算不足を理由に、市民の切実な要望に答えていない。財政調整基金への積立は、市民の要望について、十分な財源措置を優先させた後に行うこと。

▽介護予防のための生きがい活動支援通所事業は、予算に対し5割から6割の執行となっているが、要介護状態にならないための施策を充実させること。

▽虐待について相談件数が減少しているが、相談に来れない家庭もあると聞いている。市として、しっかりと体制を組みながら相談・支援活動を強化すること。

▽単市土地改良事業は、要望件数が多く実施が追いつかないとのことである。今後、予算を増額すること。

**■決算を承認**

▽一般会計については、「当初予算で反対の立場を表明している学校給食の民間委託、保育所の民間移管が引き続き検討されていること。また、「三収集の祝祭日の廃止にも、市民の不満は強いものがあること。国民健康保険事業特別会計については、賦課限度額を引き上げられた状況で、軽減措置も充実されておらず、当初予算で反対した内容が、そのまま執行されていることから承認できない」との反対意見があり、承認としました。（9ページ表の賛否No.8を参照）

**上下水道事業決算特別委員会の報告**  
（9月11日開催）

**■耐震化**

「水道施設及び管路の耐震化は、どの程度進んでいるのか」との質疑に対して、「施設の耐震化については、改修時に進めることとしており、現在、配水池の耐震化率は約85%ですが、改修予定の坂本配水池が完了すれば、ほぼ終了と考えております。

また、管路の耐震化については、布設替において進めており、耐震化率は平成23年度末で9.5%と、年間2%程度の伸びですが、年次計画を立てて、改修してまいります」との答弁がありました。

**■災害時の給水**

「もし、市内で大きな地震が発生し、給水車の出動が必要となった場合、給水車あるいは給水タンクを載せる自動車等を何台分準備できるのか」との質疑に対して、「給水車として、2トン積みの専用車両が1台と、1トン積みのトラックに積み込めるタンクが3基ございます。なお、日本水道協会山口県支部と給水車のシェアについて応援協定を結んでおり、単市の非常時であれば、10台は出動可能です」との答弁がありました。

**■公共下水道工事**

「周辺部に管が延びている状況の中で、管を引く方と合併処理浄化槽を既に設置している方との間でトラブルもあると思

うが、市としてはどのように対処していくのか」との質疑に対して、「公共下水道工事をする場合、まず、地元説明会の中で、工事の理解と接続のお願いをし、供用開始告示の説明会においても、早期の接続をお願いしております」との答弁がありました。

以上の質疑等を踏まえ、委員からは、「災害時等の給水車の配置については、公営企業という本来の主旨から考え、ぜひ早期に検討していただきたい」「市が公営企業として水道事業をやるのであれば、不採算性の地域にも給水をする努力をすべきである」との意見がありました。

**■決算を承認**

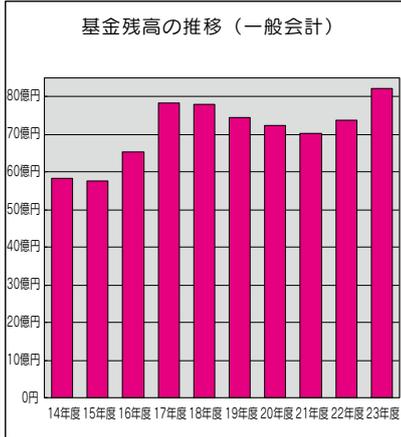
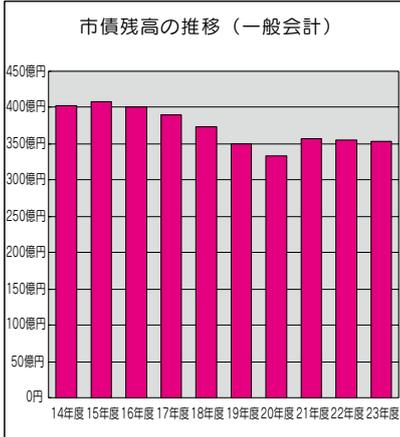
「市民のライフラインは市が直接責任をもつてやるべきで、一部の業務とはいえ、外国系企業に委託していることは問題であり、当初予算どおり執行されていることから、決算の認定には反対する」との意見がありました。賛成多数により、原案のとおり承認しました。（賛否No.9）



給水車



飲料水タンク



# 議会報告会

## 市民に開かれた議会へ

前号に引き続き、議会報告会（5月14日～22日に市内15地区で開催）で出されたご意見等のうち、行政への意見等の回答の一部を紹介します。詳しくは、議会ホームページに掲載しています。

質問、意見、要望等	執行部の回答
後期高齢者医療制度では、人間ドックが利用できない。国民健康保険制度と同様、人間ドックを利用できないか。	後期高齢者医療保険の保険者である山口県後期高齢者医療広域連合との事務折衝では、人間ドックの実施は難しいという回答を得ています。胃がん、肺がん、大腸がんについては、検診の時期を7・8月にすれば、市の検診でこの3つを同時に受けることは可能ではないかと思えます。国民健康保険の人間ドックも病院へ2、3回は行かなければ受診できませんので、ご理解をお願いします。3つのがん検診の同時受診が可能であることの市広報での周知は、来年度に検討いたします。
生活排水路の掃除であげた泥を市が収集してほしい。	自治会・町内会で実施される清掃活動により生じる汚泥、ごみ等につきましては年2回を基本に収集運搬を行っております。
台風等の高潮の時、向島の県道の排水口から、海水が逆流する。排水口の改良か、道路を高くしたら良いと思う。	市が山口県に確認したところ、排水口に海水が逆流しないように逆流防止弁を付けているとのことでした。しかし、今回の台風16号が接近した9月17日10時頃に市が現地視察した結果、本村付近の県道が冠水していることを確認しました。早速、山口県に連絡し、山口県も事実を確認しました。今後、山口県において対策が打たれると思えます。
記念モデル児童遊園について、倉庫、時計、自販機の設置を要望したい。	トイレが年度中に完成いたしますので、そこに掃除用具等入る物入れを設置します。時計は1台30万円程度かかり15年くらいで更新の必要が出てきます。公園は、220カ所あり費用的に困難であります。市は遊具充実の方向であり、自販機を設置すると管理上問題がありますので、設置については庁内で検討いたします。
学校ボランティアを募集して活動する場合に、ボランティアに対する保険を市はどう考えているか。	学校での支援ボランティアは、PTAで保険を加入しているものもありますが、すべての支援ボランティア保険をかけているかわかりません。基本的に、支援ボランティアは各学校で募集をかけますが、今後、各小・中学校でコミュニティスクールを設置し、学校支援人材バンクに登録してもらいますので、教育委員会として検討していきます。
空き家等の適正管理に関する条例の制定には感謝していますが、空き家にならないような対策が必要ではないか。	防府市定住促進住宅情報バンクもありますが、まずは、本条例の運用により、空き家等の適正管理を所有者等に強く促し、空き家等が放置され管理不全な状態になることを防止することに努めてまいります。
火葬場へ売店があると良い。	勝坂自治会との覚書により売店経営をしておりましたが、平成21年の豪雨災害によって壊滅状態となり、災害復旧の際に、勝坂自治会から人的配置による売店は取りやめ、自動販売機3台に変更にしたいとの申出があり、現在の状況になっています。市としては、これまでの経緯等から、売店の設置は考えておりません。
潮彩市場へ誘導する案内看板が少ない。連絡船の発着場を潮彩市場あたりに出来ないか。	潮彩市場の看板は現在、新築地町交差点及び三田尻大橋交差点付近の県道沿いに2カ所設置しています。しかし、潮彩市場の位置がよく分からないという声も多く聞かれますので、今後市民の皆さんや観光客の皆さんが迷うことなく、たどり着ける様に必要に応じて案内看板の増設をしたいと考えています。 野島航路の発着場については、山口県による三田尻中関港整備計画において、本市と連携した賑わい空間作りに向け、潮彩市場付近への移転等によりアクセス向上をはかることとされています。野島航路の待合場所は山口県によって平成16年に建設され設備投資されたところではありますが、野島の住民みなさまのご意見をお聞きしなければならないので、早急の発着場の変更は難しいのではないかとありますが、アクセス向上には集客が必要不可欠であると思っておりますので、発着場の移転も重要課題であると考えています。
新船の導入に際して、利用者を増やす方策として、当面夏場の海水浴客の利用と釣り客を増やしたいと考えている。それについては交流人口の増加対策として、野島海水浴場に日陰対策をお願いしたい。	海水浴場全体としての簡易な日陰づくりの方法について、地元自治会と協議し、検討してまいります。

# 議会日誌

## 8月

- 1日 議会改革推進協議会  
議会概要報告会
- 3日 総務委員会協議会
- 6日 教育民生委員会（所管事務調査）
- 20日 総務委員会（継続審査・所管事務調査）  
教育民生委員会（所管事務調査）
- 21日 全員協議会  
・防府市指定地域密着型サービスの事業の人員、  
設備及び運営に関する基準を定める条例の制定  
ほか  
議会改革推進協議会  
山頭火ふるさと館検討協議会
- 22日 山口県市議会議長会議員研修会（下関市）
- 30日 勉強会  
・平成24年度補正予算ほか
- 31日 議会運営委員会

- 20日 常任委員会・予算分科会  
（総務、教民、産建）
- 24日 一般・特別会計決算特別委員会（産建）
- 25日 一般・特別会計決算特別委員会（教民）
- 26日 一般・特別会計決算特別委員会（総務）
- 28日 予算委員会（全体会）

## 10月

- 2日 全員協議会  
・地域主権一括法にかかる条例の制定ほか
- 3日 9月定例会閉会  
広報編集委員会
- 5日 教育民生委員会（所管事務調査）
- 9日 議会改革の視察受け入れ（熊本県玉名市）
- 18日 広報編集委員会
- 22日 全員協議会  
・パブリックコメントの結果報告ほか
- 26日 議会概要報告会  
広報編集委員会
- 30日 議会改革の視察受け入れ（石川県金沢市）

## 9月

- 1日 議会懇談会（総務委員会）  
・野島・島づくり協議会との意見交換
- 4日 議会改革推進協議会  
全員協議会  
・防府市犯罪被害者等支援条例の制定ほか
- 5日 9月定例議会開会  
広報編集委員会
- 11日 上下水道事業決算特別委員会
- 12日 本会議（一般質問）
- 13日 本会議（一般質問）
- 14日 本会議（一般質問）
- 18日 本会議（一般質問）  
全員協議会  
・電気自動車用急速充電設備設置について  
議会運営委員会
- 19日 予算委員会（全体会）  
議会改革推進協議会

## 12月定例議会の予定

- 7日 本会議（開会）
- 12日 本会議（一般質問）
- 13日 本会議（一般質問）
- 14日 本会議（一般質問）
- 17日 本会議（一般質問）
- 18日 予算委員会（全体会）
- 19日 常任委員会・予算分科会  
（総務、教育厚生、環境経済）
- 21日 予算委員会（全体会）
- 27日 本会議（閉会）

会議の開会時刻は、午前10時です。  
 なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。  
 詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL 25-2182

### 編集後記（表紙の説明）

表紙は平成20年11月から4年間活動してきました市議会議員25人（欠員2人）です。このメンバーによる議会だよりは今号が最後になります。4年間ご愛読していただきありがとうございます。

この4年間の議会は、まさに変革の時期であったと思います。市民に開かれた議会、市民の参画及び市民と協働する議会をめざし、議会基本条例の制定を始め、多くの条例、規則、要綱の制定及び改定を行いました。議員が言うのもなんですが、類似都市の議会に比べ数段勝る議会活動だったと思います。特に議会改革推進協議会（初代会長・久保議員、現会長・田中健次議員）の活動は顕著であったと思います。前号でもお知らせしましたが、日本経済新聞社の評価では、議決すべき事件の拡大、議会報告会・議会懇談会・議会モニター制度の実施等が高く評価され、全国804市区議会議中16位、中国地方ではトップと大変素晴らしい評価をいただいたところでございます。

### 議会広報編集委員会

- ◎藤本和久 久保玄爾
- 高砂朋子 重川恭年
- 今津誠一 弘中正俊
- (◎)委員長、(○)副委員長